

## 平成16年度鳥取市政懇話会第1回全体会議事概要

1. 日 時：平成17年1月27日(木) 午後3時～4時20分

2. 場 所：市役所駅南庁舎地下会議室

3. 出席者： 委員 乾委員、下石委員、神部委員、木村肇委員、田中委員、谷口委員、西尾委員、畑山委員、八村委員、久本委員、福島委員、安養寺委員、宇津原委員、大木戸委員、太田委員、川上委員、坂本委員、四宮委員、橋本委員、水根委員、山本朝子委員、安藤委員、池本委員、川口委員、木村公児委員、下田隆資委員、傑臚委員、仲山委員、溝口委員、三谷委員、吉田委員、吉村委員、池原委員、植木委員、岡垣委員、沖委員、下田初男委員、須崎委員、福本委員、細田委員、森山委員、山本大順委員

欠席委員 三田委員、児嶋委員、清水委員、浜田委員、亀本委員、森田委員

鳥取市 竹内市長、石谷副市長、林副市長、中川教育長、谷口総務部長、西澤企画推進部長、山根企画調整監、井上福祉保健部長、大西経済観光部長、山下農林水産部長、綾木都市整備部長、小田環境下水道部長

事務局 羽場企画調整課長、高橋スタッフ、大田スタッフ、山本スタッフ、山川スタッフ、井上スタッフ

4. 委員会の概要(発言内容等について、事務局で一部加筆訂正しています。)

(1) 開 会 事務局：羽場企画調整課長

(2) 市長あいさつ(要旨)

皆さんには、ご多忙なか委員就任いただき感謝申し上げます。

昨年11月の新鳥取市発足に伴い、各地域の委員も加え新しい市政懇話会をスタートさせました。その意味でこの会場にしたわけではありませんが、新市を強調する場所(市役所駅南庁舎)で第1回会議を開催しました。

この市政懇話会は、平成14年に一時休止してその間『市政を考える市民100人委員会』を組織し、3年間にいろいろな提言をいただきました。

市政懇話会は、100人委員会とは異なり、提言するというより、懇話会での話し合いを基に市政を的確に運営していきたい。この懇話会には4つ部会がありますが、それぞれの部会に市長、両副市長、教育長が出席します。時には、部長も出席しますので、このなかでその時々々の市政の悩み・課題を聞いていただき、意見交換をして皆さんのご意見をその場で吸収し市政に反映していきたいと考えます。

市民と行政が協働しながら市政の推進を的確に図る。一般に審議会は、個別のテーマで諮問をしていますが、私としては、市政懇話会は肩の凝らない率直な意見交換が出来る場としたいと考えます。市にとっても、私自身にとっても、頼りになるアドバイザーとなっていきたいと考えています。

当面は総合計画に関わる議論をしていただきたいと思います。積極的なご参加をいただきますようお願いします。2年間皆さんお世話になります。よろしくお願いいたします。

(3) 辞令書交付

代表で乾委員へ市長より辞令書を交付

(4) 会長・会長代理の選出

事務局から会長候補に地域づくり部会の八村輝夫様を提案。(委員の拍手で承認される。)続いて会長代理として、地域づくり部会神部みゆき様を提案。(委員の拍手で承認される。)

(5) 会長あいさつ(要旨)

事務局(羽場):では、八村会長にあいさつをいただきたいと思います。

八村会長:会長のご指名を受けました八村です。この市政懇話会は、市政の課題について皆さんと肩の凝らない率直な意見を交換して、市政に反映させることが目的のことですので、どうか積極的な意見を出していただきますようお願いします。

(6) 議事

事務局(羽場):では、議事に入ります。鳥取市政懇話会条例第6条の規定により、議長は会長が務めることになっておりますので、以後の進行を会長にお願いします。

八村会長:お手元の次第に従って、市政懇話会の運営について新鳥取市の概要について事務局から説明してください。

西澤企画推進部長:(会議資料1に基づき説明。)

谷口総務部長:(会議資料2に基づき説明。)

八村会長:今の説明について、ご質問がありましたら、発言される前にご氏名をお願いします。

委員:月に2回とお聞きしましたが、そうですか。

西澤企画推進部長:原則2か月に1回開催します。今年度は、毎月開催します。

八村会長:その他質問はありませんか。ないようでしたら次に、第8次鳥取市総合計画策定方針について行財政改革の取り組みについて、事務局から説明してください。

山根企画調整監:(会議資料3に基づき説明。)

西澤企画推進部長:(会議資料4に基づき説明。)

八村会長: , についてご質問がありましたらお願いします。今年度の市政懇話会は、第8次総合計画に対しての意見交換のようですので、何かありましたら。

委員:総合計画策定にあたっての市政懇話会の位置づけは、また資料6ページのフローチャートの意味を教えてください。

山根企画調整監:6ページについて、右側に行政組織、左側に市民の意見をいただく項目になっています。実質的に総合計画の素案を作成するのは、右側の「8次総プロジェクトチーム」と、左側の「鳥取市総合計画策定市民ワーキンググループ」がタイアップして共同作業で素案を作成します。共同作業が素案を作る際に、市政懇話会、地域審議会等に説明し意見をいただきながら、素案に反映させていきます。

竹内市長：総合計画策定の中で市政懇話会の位置づけはというご質問ですが、情報提供して意見提言をいただくもので、ワーキンググループに直接結びついている感じになっているが、厳密に言えば市長、副市長、教育長から8次総策定幹部会議等の場に反映させる。総合計画は、総合企画委員会を専門的に設けている。市政懇話会は、1月から3月までに総合計画の部分で提言をいただいて、ワーキンググループに反映させる。

従って、年中総合計画をするわけではなく、当面の課題として1月から3月までは総合計画を議論していただき、それが終わると、別のテーマでの議論をいただく。

委員：7次総の結果と課題を教えてください。

山根企画調整監：第7次総合計画は、現在5年間の計画の中で3年間は実績が出ている。現在進行中であるが、途中段階での進ちょく見込みについての資料は、担当課が持っているので提出できる。

委員：可能な限り提出してください。

八村会長：他にないですか。それでは、時間も来ましたので、以上で市政懇話会全体会を終わります。皆さん、市政に対してのご意見をお願いします。どうもありがとうございます。